

組織部報告

組合員増加状態

昭和六年八月末現在に於ける加盟組合数は、六十八組合で、これ等の組合は八聯合會、二同盟會を組織して居るのである。この總組合員数は四萬四千二百十九名である。これを前年度大會報告書に比すれば、三組合、五千六百六十二名を増加した。即ち、左の如く新加盟組合及解散組合があつた。

新加盟組合

名 稱	組合員數	加盟年月
中央硝子工組合	三二一	六、三
大阪仲仕労働組合	四八〇	六、七
小倉仲仕労働組合	八〇	六、三
名古屋陶器工組合	三〇〇	六、五
名古屋製氷労働組合	一〇〇	五、一〇
一宮合同労働組合	八〇	六、五
中京鐵工組合	二二〇	五、二二
中京仲鋼工組合	五〇	六、七
關西紡織産業労働組合	四、三〇〇	六、五
合 計	五、八三一	

右の内、關西紡織産業労働組合は、京都紡織労働組合、大阪紡織労働組合、尼ヶ崎紡織労働組合、澁紡織労働組合、中部紡織労働組合の五組合の合同を行つて新に成立したものである。従つてこれ等の組合は合同成立と共に解散した。この外本年度に於て解散したる組合は左の如くである。

解散組合

名 稱	組合員數	解散年月
岩手合同労働組合	五〇	六、三
關西運輸労働組合	六〇	一
美濃電鐵従業員組合	一四〇	
合 計	二五〇名	(關西紡織に合同したるものは除く)

組織成績概観

本年度に於ける組織運動の成績は、前年度に比して先づ良好と見ねばならぬ。不況の深刻化に伴ひ、一部の労働者は、自暴自棄的に「尖鋭」化し、一部の労働者は、退却卑屈となつて、健實なる労働組合運動は極めて困難な事情に當面して居るのである。こういふ時代には、無責任な放言であつても、勢の良い方が耳裡に入り易い事となつて、我總同盟の方針は一見甚だ目立たない観が無いでもないものである。然し乍ら、それは要するに皮相な見解であつて、こういふ時代であればこそ、益々我總同盟の方針は、労働大家に徹底せしめねばならぬものである。今、一ヶ年の成績を顧み、全國の組合員諸君が、よくこの總同盟の旗を護つて、苦難期を閉はれた事に對して感謝せざるを得ないのである。本年度の組織成績を、各加盟組合別に見ると、大體、二、三の組合を除く外どの組合も同程度率を以つて増加した。又これを地方聯合會別に見れば左表の如くである。